

公益社団法人 宜野湾青年会議所

会員開発委員会

委員長 金城 直治

設置背景	会員減少がみられる近年、JAYCEEとして組織の在り方や活動を理解し、LOM全体が一丸となりJC運動の魅力を広く発信し、一人ひとりが成長していけるよう魅力的な組織づくりの必要があります。
設置目的	青年経済人としてすべての会員が知識・教養・能力を磨き、一人たりとも欠けることのない魅力ある強固な組織の構築を目指す。
活動概要	1新入会員オリエンテーションの構築と実施 2JCI公式3コースの実施 33 大大会並びに沖縄地区・ブロックの事業・諸大会への参加推進 4宜野湾版日本アカデミーの合宿の開催 5全会員が成長できる例会の開催
S D G s	4・8・17
K P I	オリエンテーションを適宜実施、1年を通して対象者の参加率を100%にする。 JCI公式3コース受講率を50%にする。 3 大大会並びに沖縄地区・ブロックの事業・諸大会への参加率を40%にする。 宜野湾版日本アカデミーの合宿を9月に開催する。 例会を月1回開催し80%例会を達成する。
IMPACT (影響力)	JCI公式3コース・新入会員オリエンテーションを行い、JAYCEEとして目的意識を持って能動的に行動できる傑出したメンバーの育成と強固な組織を構築いたします。
MOTIVATE (意欲)	(対内) 宜野湾版日本アカデミー合宿を行い、メンバーの発展・成長につなげ傑出したメンバーを育成します。 (対外) 3 大大会並びに沖縄地区・ブロックの事業・諸大会への参加推進を行い、JCやLOMの意義や目的を深く理解する。
INVEST (投資)	会社や家庭の事情で役員や出向できないメンバーへ投資を行い、成長の機会をより多く提供できる環境を作って変革を加速させます。
COLLABORATE (協力)	メンバーと協力して運動を展開し、諸大会や各事業、例会への参加率向上と質の向上への道筋を作ります。
CONNECT (つながり)	会員開発委員会がハブとなり新入会員とLOMまたは他LOMとつなげ、参加しやすい環境を構築することにより、出向や参加率の向上を図る。
政策手法	1新入会員へ組織の在り方や運動をより早く理解するために、入会后委員会にてオリエンテーションを実施し、参加意欲を高めます。 2傑出したメンバーの育成と強固な組織を構築するために、JCI公式3コースを定期的実施し、知識、教養、能力の開発に寄与する。 33 大大会並びに沖縄地区・ブロックの事業・諸大会の参加率向上のために、参加意義や目的を共有する座談会を企画し、参加率向上につなげます。 4JAYCEEとして目的意識をもって能動的に行動するために、宜野湾版日本アカデミー合宿を実施し、強固な組織を構築します。 5地域を変えることのできる人財を育てるために、人格形成、ビジネスにマッチングした例会を決まった曜日に実施し、多くの学びと、機会を提供することにより宜野湾JCに傑出した人財をつくりだす。
パートナー	公益社団法人 日本青年会議所 JCプログラム実践委員会 (実施支援) 公益社団法人 宜野湾青年会議所 現役会員 (実施支援) 公益社団法人 宜野湾青年会議所 会員OB (実施支援) 公益社団法人 日本青年会議所 沖縄地区協議会・沖縄ブロック協議会 (実施支援) 沖縄県各地会員会議所各LOM (実施支援)

年間事業フレーム

会員開発委員会
委員長 金城 直治

全
国
大
会
（
宮
崎
）

世
界
会
議
（
ゴ
ア
）

京
都
会
議
（
京
都
）

A
S
P
A
C
（
済
州
）

サ
マ
コ
ン

全
国
大
会
（
富
山
）

世
界
会
議
（
タ
リ
ン
）

運動・事業名	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
新入会員オリエンテーションの開催	引継・企画・立案				通年実施										検証・引継		
JCI公式3コースの開催	引継・企画・立案				日本JCとの連絡・調整・実施												検証・引継
三大大会及び沖縄地区・ブロック事業の参加推進	引継・企画・立案				京都会議	沖縄地区協議会新年賀詞交	連絡・調整				サマーコンファレンス	連絡・調整	ブロック大会	全国大会（富山）	沖縄地区協議会総括発信	検証・引継	
宜野湾版日本アカデミー合宿の開催	引継・企画・立案				調整・連絡					議案提出協議	審議	調整連絡	実施	検証	報告議案提出	検証・引継	
例会の開催	引継・企画・立案				総会	地区事業	実施	実施	実施	実施	総会	実施	地区事業	実施	地区事業	検証・引継	